

Juniper SRX 日本語マニュアル

15. Junos OS のモードと CLI 操作

はじめに

Junos OS の CLI モードおよび、機能について説明します。

※手順内容は「SRX300」、Junos OS「15.1X49-D140」にて確認を実施しております。

2018年8月

アジェンダ

1. CLI のモード
2. configuration モードのコマンド
3. CLI の階層
4. CLI ライン上の移動操作
5. コマンドや設定値の補完操作
6. コマンド状況に応じたヘルプ機能

1. CLI のモード

root ユーザとして機器コンソールにアクセスした場合、プロンプト上のパーセント記号 % によって示される Junos OS の UNIX 階層に直結した shell モードにアクセスした状態になります。

Junos OS の CLI にアクセスするには、shell プロンプトにて cli コマンドを実行します。

```
root@srx% cli
root@srx>
```

Junos OS の CLI には二つのモードがあります。

- operational モード - 機器の現在の状態が表示されるモード
Junos OS や SRX 機器に関連した実行したコマンドによって、動作状況のモニタリングやトラブルシュートが可能
- configuration モード - 機器の設定を行うモード
インタフェースや、ルーティング、セキュリティ機能、ユーザアクセス、そしてシステムとハードウェアのプロパティを含む、Junos OS の全てのプロパティを定義するモード

1. CLI のモード

- ① operational モード
root ユーザ以外のユーザで CLI にログイン後、右向きの角ブラケット > で示される operational モードへアクセスします。

```
user@srx>
```

- ② configuration モード
operational モードにて configure コマンドを実行することで、シャープ記号 # で示される configuration モードにアクセスします。

```
user@srx> configure
```

```
[edit]  
user@srx#
```

configuration モードから operational モードへ戻る場合は、configuration モードのプロンプトにて exit コマンドを実行します。

```
[edit]  
user@srx# exit  
  
user@srx>
```

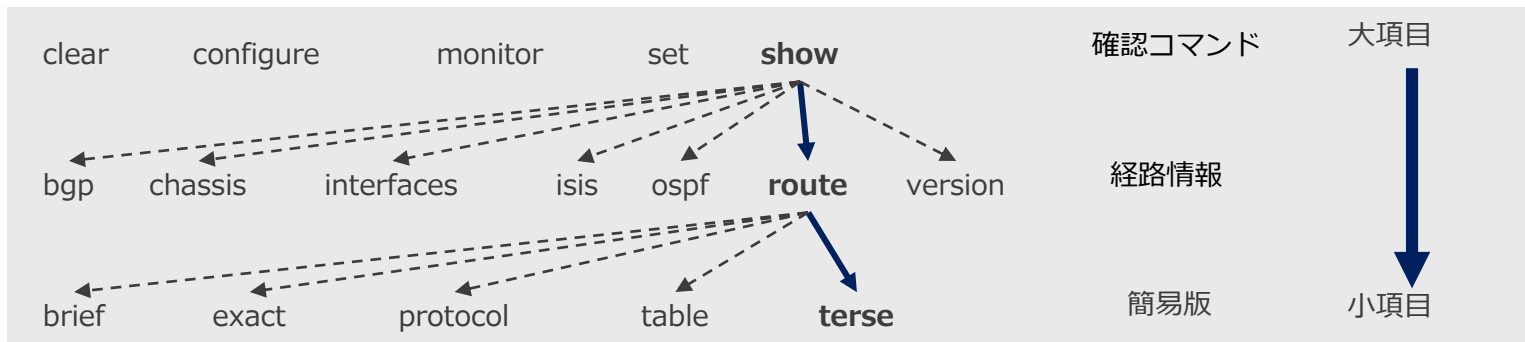
2. configuration モードのコマンド

次の表に設定操作において、使用頻度の多い configuration モードのコマンドを記載します。

コマンド	機能
set	設定を行うためのコマンド
delete	設定の削除を行うためのコマンド
show	現在の設定階層および、サブ階層の設定内容を表示させるコマンド 最上位の top 階層から show コマンドを実行した場合、全ての設定内容が表示されます。
commit	現状の候補設定の内容を既存の(動作)設定として保存する場合に commit コマンドを使用します。
copy	一つの設定の定義内容を別の名称の設定にコピーするためのコマンド copy コマンドは、定義済みの設定および以下の階層の全体的設定内容を複製します。
rename	以前定義した設定に新しい名称を適用させるためのコマンド

3. CLI の階層

CLI のコマンドは階層ごとにまとめられています。
類似した機能に関連するコマンドは同じ階層レベルに集約されています。



```
user@srx> show route terse    ※ルートテーブルの簡易表示をさせるコマンド
inet.0: 3 destinations, 3 routes (3 active, 0 holddown, 0 hidden)
+ = Active Route, - = Last Active, * = Both

A V Destination                P Prf  Metric 1    Metric 2    Next hop        AS path
* 0.0.0.0/0                    S   5              >172.27.112.1
* 172.27.112.0/22              D   0              >ge-0/0/0.0
* 172.27.113.19/32            L   0              Local
```

4. CLI ライン上の移動操作

Junos OS の CLI は、Emacs ベースのキー操作をサポートします。
入力中のコマンドライン内において、次のキー操作が利用可能です。

- Ctrl+b コンソールを一文字後退させる
- Ctrl+a コマンドラインの先頭にコンソールを移動させる
- Ctrl+f コンソールを一文字進める
- Ctrl+e コマンドラインの最後にコンソールを移動させる

5. コマンドや変数値の補完操作

Junos OS の CLI では、スペースキーまたは Tab キーを利用して、コマンド入力を一部補完することができます。

特定のコマンドの一部にのみ該当する文字列を入力した場合、コマンドは完成されます。複数候補がある文字列を入力した場合は、その文字列に該当したコマンドのリストが表示されます。

```
user@srx> show se
                ^
'se' is ambiguous.
Possible completions:
  security      Show security information
  services      Show services
```

Tab キーを利用して、設定内で割り当てられた変数名（例えば、ユーザ名やインタフェース名）を補完することもできます。

6. コマンド状況に応じたヘルプ機能

operational モードおよび、configuration モードのコマンドライン内の全ての位置および、階層において？キーによって、状況に応じたヘルプ情報を表示させることができます。

実行した場合、その階層において利用可能なコマンドのリストが表示されます。

```
user@srx> ?  
Possible completions:  
  clear          Clear information in the system  
  configure      Manipulate software configuration information  
  file           Perform file operations  
  ... (以下省略)
```

コマンド入力後に実行した場合、そのコマンド以下で利用可能なコマンドのリストが表示されます。

```
user@srx> clear ?  
Possible completions:  
  amt          Clear AMT Protocol information  
  arp          Clear address resolution information  
  bfd          Clear Bidirectional Forwarding Detection information  
  ... (以下省略)
```